

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 44 号

エイズ治療拠点病院における HIV と共に生きる人々のライフコースに対応した外来看護支援のための教育プログラムの開発

(Development of an educational program for nurse support at outpatient clinic for People Living with HIV depending their life course in AIDS Treatment Base Hospitals)

久保田 早苗 (くぼた さなえ)

博士 (看護学)

論文審査結果の要旨

本研究は長期療養が可能となった HIV と共に生きる人々 (PLWH) のライフコースで遭遇する複雑な医学的・心理社会的問題に対応するために、外来看護支援を促進するための教育プログラムを開発し、その有効性を評価することを目的とした。ADDIE モデルに基づき、研究 1 では、文献検索により PLWH の心理社会的転帰の改善につながる支援として、HIV に関する様々な知識、アドヒアランスの障壁の克服等に関する議論、個別介入が有効であることを抽出した。第 2 研究では、質問紙調査により、エイズ治療拠点病院 64 施設に勤務する看護師 113 名 (回収率 33.3%) において、PLWH 外来看護支援時に「スティグマの概念に関する理解」「自己効力感を高める支援」「セクシュアリティに関するコミュニケーション」スキルに課題があることを明らかにした。これらの結果と英国 HIV 協会作成の教育ガイドラインを基盤に、1 項目 10 分程度で構成された 8 項目のプログラムと、HIV 診断直後の場面を想定した 2 動画から構成される Web 教材を作成し、学習管理システム Moodle で稼働させた。研究 3 では、PLWH 支援に携わる看護師 4 名を対象に、プログラム受講前、受講後、PLWH 支援直後の 3 時点で質問紙調査を実施した。コミュニケーション、知識、実践得点はプログラム受講後に有意に上昇し、PLWH 支援直後まで維持されることを確認した。一方、プログラム受講によって態度に有意な変化は見られなかったが、HIV 診断後に PLWH が抱く負の感情 (死や絶望) に対する困難さの得点は減少しており、PLWH に対する肯定的な理解を深めたものと推察する。また、Web 教材の満足度調査では、全員が役立つと評価した。このように、PLWH に対する外来看護支援を促進するための教育プログラムを開発し、学習成果と有用性が確認でき、PLWH 支援の質の向上に貢献できるものと期待される。よって、本論文は博士 (看護学) の学位を授与するに値するものと判定した。